

A STATE OF THE STA

「共に生きる社会」の実現をめざして





Special Edition

と大学院の中心に の _ の 拠点 教育を実施

開設式典 東京赤坂キャンパ ス

は地元港区民を始め、各国大使館からャンパス内の講堂で開催した。式典に赤坂キャンパスの開設記念式典を同キ国際医療福祉大学は四月四日、東京 五〇〇人が参加した。医療関係企業、マスコミの 大使や外交官、 ○○人が参加した。 トップら約

を述べた。

5

史を共に作っていきたい」と呼びから、すばらしい医療・ヘルスケアの

|療・ヘルスケアの歴

を行い、本学が選定され、今年四月か校の跡地に大学を誘致するための公募同キャンパスは、港区が旧赤坂小学 く設置した医学研究科の中には医学専院」で構成されており、大学院に新し ら開設。赤坂キャンパスは「心理学科」 「医療マネジメント学科」 公衆衛生学専攻を新設した。 大学

式典では本学の高木邦格理事長が式



●高木邦格理事長

に誕生したことは、がここ赤坂 されること うした施設

心から歓迎します 若 地元 有能な方々が の区長と

行政で活躍する人材を は未病改善、「神奈川県 を自己紹介 **しながら、**

関連する会社、辞のなかで、「 す」と語るとともに、あわせて「今後が一体となった教育を行ってまいりま東京の中心地で、新たに学部と大学院 地元に根ざした取り組みに向けて決意研究の拠点をめざしてまいります」と 育成する学科が少なく、 も港区の皆様と協力しながら、 「医療福祉施設やそれに 新たに学部と大学院ソなく、本学ではこの 教育・ こうという! 健康寿命を 思いは国際医療福祉大学の理念に合致 している。東京、

最先端の研究に取り組み、 を重視する姿勢を示した。 るとともに、 して実績をあげております」 続けて矢﨑義雄総長が 人近い院生が医学 「地域との連携と貢献」 医療の分野で 「大学院は八 9」と紹介す知の拠点と

は

た。

され、 武井区長は 協会の半田 協会の猪口 神奈川県の黒岩祐治知事、 来賓を代表して、 日本 雄二会長、 「高度な医療専門職を養成登会長、大岡秀朗氏が登壇 会長、日本理学療法士会日本病院会日本病院会長<l



質の向上で

支える大き療・介護を が増え続け る日本で医 猪口会長 「高齢者 CTであり

会は コメディカルの方々に必要なの長のな運営ができる人材の育成に期待し的な運営ができる人材の育成に期待しいなツールがICTでありAI。ICT は国際性と



知事は知事就任前に本学で教鞭を取っことを大いに願います」と述べ、黒岩発展のために、共に活躍していただく新たな活力をこの街にもたらし、街の いたこと

口 チ を実施中

●黒岩祐治神奈川県知事

まねく、

本学医療マン もともと大岡越前守の屋敷跡です。は大岡氏は「このキャンパスの地は、 を示した。 マネジメント学科... 子科へ強い期待いきたい」と、に、力を貸して

に等しく 前守の政治の根本には、 『すべての方 越

いただく』 せになって みんなで幸 を提供し、 会の仕組み 社あ あ それはまさ

●大岡秀朗氏

祉大学が新たなキャ間が住んでいたこの く『医療と福祉』 というものが ャンパスを開設したの地に、国際医療短 そこに着目 国際医療福 した人

た

式典後、同キャンパスの二階カフことに感謝している」と話した。 とって意義深い使われ方に巡り合った非常に有難く感じている。みなさまに ことには、不思議な縁を感じており、

かな雰囲気のなか、執り行われた。うじ議長の乾杯の音頭で祝賀会も和との祝辞を述べた。港区議会の池田 坂一ツ木町会の出野泰正会長が「赤坂展示していることへの謝辞を述べ、赤 氷川山車保存会の石渡光一理事長がキ事長・名誉学長の挨拶に続いて、赤坂テリアで祝賀会を開き、北島政樹副理 展示していることへの謝辞を述べ、赤ャンパスの正面玄関に氷川山車を常設 とともに発展されることを期待

科をめざしております 員として多数在籍し、医療に強い心理学 は通常、文科系の中につくられることが 衛生大学院をめざしてまい る方が約四○ 全体で約五二兆円、 本学で初めての設置となる「心理学科」 体で約五二兆円、医療福祉分野に勤めト学科」は、わが国の医療費・介護費 いのですが、 スと連携しながら、 ○万人いるなか、 本学では現役の医師が教 「医療マ 世界的な公衆 医療福祉 ネジメ

げますけ

また、これから二年程度Ⅱ期工

臨席の大岡様が、

私の家内の大学の同級生

大岡越前守のお屋敷の跡地と知り、

本日ご

学の採択が決定いたしました。この土地が どものこれまでの実績を評価いただき、 ための公募を知り応募した結果、 区が旧赤坂小学校の跡地に大学を誘致する

わたくし

多

目にござ

ましたが、

港

たしましたことをお詫び申し

近隣の皆様方には、工事期間中ご迷惑を

開設を迎えることができました

パぉ

さまで

本日無事に東京赤坂キ

高木

学校法人 国際医療福祉大学赤坂キャンパス開設式典式辞

国際医療福祉大学の大学院キャンパスは沿いております。

衛生学専攻は政府の要請もあ

成田

事が続きますが、

できるだけご迷惑をお

願いしております。港区の皆様にはこれかけすることのないよう施工会社にはお

までさまざまなご指導ご支援をいただき

二〇二〇年の東京オリンピック・パラリン

ではこの東京の中心地で、新たに学する人材を育成する学科が少なく、

新たに学部と

施設やそれに関連する会社、

行政で活躍

本学

大学院が一体となった教育を行ってまい

その後、設計を進めておりましたなか

`をとったところ、建築費用が二・五倍にっクが決定いたしました。 建築の見積

り

そのご縁に大変驚きました。

結婚式にもお越しいただいたこともあり

きには地域の方々にもご活用いただけたの開催のほか、学内で使用していないと一○○○人収容の講堂は学会や研修会 ら幸いです いないと

国際交流スペースのほか、港区で5番目しました。さらに、生涯学習センターや 様が大切に守ってこられた氷川お越しいただいておりますが、本日は氷川山車保存会の方々 ○二○年完成のⅡ となる病児保育を開設いたしました。 つでも目に触れていただけるようにいントランスホールの横に常設展示し、 いるこども園と合わせて、 いです。 期棟に開設を予定して いただけるようにいたの横に常設展示し、いこられた氷川山車をエ 方々にも多数 地域の皆 いただ

ます。

この赤坂キャンパスと三田病院、

山王病院が連携し、

港区における防災拠

中でも有数の大学という○○人の卒業生を輩出し、

昨年成

災では、本学の栃木県内の各施設も被災 は防災を重視いたしました。 赤坂キャンパスの開設にあたり 東日本大震 ŧ

> がボランティア活動を行いました。 方に、延べ数千 人にわたる学生や教職員 その

経験から、 王病院とともに完全な免震構造でござ間の非常用電源設備を完備しており、 置しております 困難者を受け入れ、 国際医療福祉大学三田 たしました。万が一の災害時には帰宅験から、大学院に災害医療分野を開設 港区の防災倉庫も設 1病院は、

点をめざしてまいります。の皆様と協力しながら、数いう建学の精神をベースに 生命の平等」という理念と、以上の歴史を持つ高邦会の「 祉大学の「共に生きる社会をめざす」と わたくしどものグループは、一一〇年点としても機能強化を図ってまいります 、ースに、 、教育・研究の拠スに、今後も港区 引き続き、 「生命の尊厳 国際医療福



第二の故郷として港区には大変愛着がご

また、

私は国際医療福祉大学

のほか山王病院の理事長も務めており

を散歩しては素晴らしい所だと感じてお

ました。現在も青山に在住しており、

学園の隣に住んでおりました。この周辺

国際医療福祉大学は医師以外の専門職だき、このたび無事に完成に至りました。もある奥村組様が建設をお引き受けいたりませんでした。そうしたなかで、地主で

ここから一、二分の所にございます山脇高校を卒業し、昭和五三年から八年間、

私は福岡の出身でございますが、あらためまして御礼を申し上げます。

麻布

膨らんだりし、建設会社がなかなか決ま



大学院に新しく設置

「大学院」

で構

医学専攻と、

公衆公

たし

赤坂キャンパスは「心理学科」

東京赤坂キャ ス開設式典

特集

です。

国際

性を立って

いくことが

必要 して

その実現のために、

は周囲のお友達の気持ち、

大切にすることにもつながるはずです」

続いて、

三浦大学院長は

懇談会」

「大学院オリエンテ

賓懇親会並びに大学院祝賀会」

「学科別 来

平成三〇年度

うしたい

のか、

しっかり自らに問いかけ

本当のところ自分はど

次の歩みを進めてください。ご自分

未来を大切にすること

なく終了

した。その後はそれぞ

教員が一人ひとり自己紹介し、

式は滞り

大友学長が自己紹介ーいのことば」を述べた。

を述べた。

将来、

未来を

「迷ったときは、

のはご自分の本当の気持ち、そしてお一大友学長は「何と言っても一番大切な

科博士課程)療福祉学研究

ただくと、 ら祝辞をい 成田市長か

科博

「新入生誓

人お一人の将来と未来です」と強調して

東京赤坂キャンパス

学部入学式並び 平成三〇年度 入び 学に式

坂キャンパス講堂で執り行 入学式が、四月七日 赤坂心理・ 四月に新設された国際医療福祉大学 式典には、 東京青山 医療福祉マ [から移転] 午後、 した同大学院の ネジメント学部 本学東京赤

のほか、同 生二四八人 アスト 大 ネジメント医療福祉マ 赤坂心理・

院の教職員 大学 校歌斉唱の後、

赤坂キャンパス一期生としての誇りを高木邦格理事長が「学部の皆さんは、 きながらがんばってください。 優秀な先生方と信頼関係を築 良い研究をして 大学院

> 辞を述べた。 辞を述べた。 辞を述べた。 ダーとして と式

日進月歩であり、新しいものを作り上一郎大学院長が「医学・医療の分野はさい」とお祝いの言葉を述べ、三浦総 要な情報を数多く発信して 坂キャンパスから、 げる学術的な創造性が求められる。赤 健康にも気をつ 史を作ってほしい。 様と積極的に交流して この後、新入生を代表して塚田柚さ てほしい。学園生活を楽しみ、的に交流して赤坂の新しい歴、矢崎義雄総長が「地元の皆 して、 、新入生を励ました。く発信していきたい」 けて勉学に励んでくだ 未来に向かって重

介さん(大学院医学研究科) ん (医療マネジメント学科) の言葉を述べた。 が、それ 松岡亮

(医療マネジメント学科長 小畑洋二



vol.113 May 2018 CONTENTS

9-8 6-4 3-2

平成三〇年度 学部入学式並びに大学院入学式

International University of Health and Welfare ト受賞者がベトナム医療福祉体験ツアーに参加/シンガポール、ナンヤンポリテクニッポーランド・ヴロツワフ医科大学と学術交流協定を締結/第八回 高校生作文コンテス 平成三〇年度(学部新入生・大学院新入生概要福岡キャンパス・大川キャンパス/塩谷看護専門以東京赤坂キャンパス/大田原キャンパス/成田キ

岩工小中高長城松阿野外本藤畑田橋沢間谷部呂_ クの学生及び教員研修を実施/さくらサイエンスプラン研修生受入れ 光 将 美 晶 千 美 章 江 和 子 子 子

13-10

・ 保健医療学部 言語聴覚学科長・ 成田看護学部 学部長・ 成田看護学部 学部長・ 成田保健医療学部 学部長・ は田保健医療学部 学部長・ は田保健医療学部 学部長・ は田保健医療学部 学の表別の

医療マネジメント学科長学部長

卒業生総代/大学院総代/学長賞/大学院長賞医療福祉学研究科/薬学研究科/博士課程修了者·論文博士合格者一覧 ンパス/大学院大田原キャンパス/塩谷看護専門学校、 /小田原キャンパス/大川キャンパス・福岡キャ

15-14

大田原 小鍛冶さん全日本学生スノボニ連覇

成田成田の成田の場合等学校と高大連携に関する協定に調印/医学部一年生がウェルカハ

岡 コニャン大学受入研修/福岡市介護実習普及センターフェスタに参加/

川 韓国テグハニ大学研修生受入

20 19-18 17-16

-ストラリア/ベトナム/タイ/シンガポール

塩谷病院/熱海病院/市川病院/三田病院/国際医療福祉大学病院/山王病院

成田キャンパス

部の二期生、成田看護学部・成田保田キャンパスの入学式を開催した。四月五日、成田国際文化会館にて 学部が一堂 歴史える今年 成田看護学部・成田保健医 成田国際文化会館にて、 めて三

院入学式」を行った。

四月三日、

大田原キャンパスにお

つ ど。 学部入学式並びに大学 日原キャンパスにおいて

を贈った。

より高みを目指せ」と、ニーチェの言葉ら与えられる。絶えず進め。より遠くへ

要で価値のあることだ。栄誉はその点か来たかではなく、どこへ行くかが最も重

新入生に「どこから

成三〇年度

アカペラサ

ークルによる校歌『未来

大田原キャンパス

二浦総一郎大学院長が式辞を述べた。

への扉』の斉唱に続き、

大友邦学長

ら祝辞 市の津 人田原 は本書子保理 が、大田原 を代表 を代表 を代表







●学部新入生代表 豊田早織さん

院長、 学が許可された。 (博士課程九人、 本学を代表して、

学部新入生を代辞が述べられた。 三浦総一郎大学 表して、勝亦光莉 松谷有希



●「新入生誓いのことば」を述べる3人。右から、福來里美さん(作業療法学科=木更津高等学校出身) 河口奈々桜さん(医学科=白陵高等学校出身)、チャン フェ アインさん(医学科・留学生=ベトナム)

早織さん(医療代表して豊田

福祉・マネジメ

だいた。

これを受けて

谷洋平さん(医 大学院新入生 を代表して沢

●大学院新入生代表 沢谷洋平さん

この文化と歴史 生活を実り多 ŧ

のにすべく、誓いを新成田の地で過ごす学生 新入生五〇四人は、 成田キャンパ 誓いを新たにした。

心を忘れず、

学べることのありがたさ

ことばが述べられた。 子さん(修士課程) 代表して氏家陽

勝亦さんは、

初

か

5

新入生誓

0)

小田原キャンパス

月七日、行われた。小田原保健医療学部・ 行われた。 大学院入学式が

医学

業療法学科四一人),護学科八六人、理学病 長、鈴木悌介小田原箱根商工会議所会頭院長、桃田寿津代神奈川県看護部長長3名 護学科八六人、理学療法学科七四人、作員に見守られ、学部新入生二〇一人(看 陽気のなか、式典では時田光章小 ャンパスに所属する大学院新入生 をはじめ、多くのご来賓、 天候に恵まれ、 小森哲夫国立病院機構箱根病院 理学療法学科七四: 入学式に相応し 修士課程一 小田原・熱海キ 保護者、 人 い春の ·田原市 に入 教職 作



●勝亦さんによる新入生誓いの言葉

5 IUHW Public Relations Magazine 2018.5

努力をしていきます」と誓気持ちを忘れることなく、

」と誓っていた。なく、夢をかなえる

家族や先生方など周りの方々への感謝の

|俗看護専門学校|
パス/成田キャンパス/小田原キャンパス/

東京赤坂キャンパス開設式典

の海外臨床実習研修先として交流を図る 今後、短期の学生・教員の交流や医学部生

。これで本学の海外学術交流協定

大学・施設に、国・地域別にみ

ランドが加わり、二三となった。

(成田保健医療学部作業療法学科

国の特徴やその相違点等を習得し研修を修了

交流の機会となった。

田病院の視察を通じて周術期看護における両

1.充子看護部長の協力による病院視察

フ医科大学との提携は、本学の教育の発展

る「勉強会&報告会」を

行っ

た。

最終日は午前中に今回のツァ

を締め括

療系大学として多大な実績を持つヴロツワ

欧州のなかでも著名な伝統校であり、医

設などを見学した。

ム戦争関連の施

ズのあとべ

施設利用者との親睦会などの文化交流を重ねた。

二日からは、レオン・イ

ムン・ジェシカ先生の

に大きく寄与するものと期待されている。

とそれぞれの国の文化や国民性を尊重 病院のスタッフも参加して、「医療の多様性

カ先生がシンガポールの現況説明を行った。

国際医療福祉大学病院の田

口春美看護部長、塩

子先生による講義「日本の周術期看護」やジェシ る講義「日本の看護系大学の研究活動」、武田彩 よる講義「日本の看護実習」、藤田京子先生によ 教員研修が行われ、看護学科の鈴木由美先生は

た医療の重要性」などについて全員で議論

たびの締結につながった。

術交流協定締結に向けた協議を開始、この

七年一二月からヴロツワフ医科大学と学

として、メコンデルタ 三日目は郊外視察 施設を見学

ーラン外科学教授を通して、二〇

理事長・名誉学長が親交を重ねてきたボイ 誉博士号を授与された本学の北島 政樹副 を十数人輩出したことで知られている。

一年にヴロツワフ医科大学から名

に対する取り組み 障害児や貧困児童 学した。午後は身体 床検査室などを見

についてお話を伺い、

した。

研修に参加した学生との親睦を深

健福祉事情でナンヤンポリテクニック

学生らと餅つき昼食会や海外保

めたほか、研修最終日にはおおたわら総

ンターでシンガポ

-ル民族音楽の合唱披露等を通じた

体験したりして両国間の医療福

生との看護実習室での実習などを を受講した。続いて、看護学科の学

祉事情の相違点等を学習した。

師が在籍していたことや、ノ

ーベル賞受賞者

リッヒなど著名な医

大川キャンパス

平成三〇年度入学式

○年度 が四月六日、 大川キャンパス講堂において れた。 学部入学式並びに大学院入学式

事長、三浦 総一郎大学 院長、外須 だ式辞を述 が式辞を述 ら祝辞をい 議所会頭か 大川商工会 津村洋一郎 へ の 扉 の 扉 。 の 。 ま 。 ま 。 高木邦格理 良一大川市長 来賓を代表 続いて、 倉重



ただいた。

表して元木文子さん (医学研究科医学専 大学院を代

平 がそれぞれ「新分野博士課程) 理事長より檀上 を述べた。 攻臨床医学研究 式は滞りなく終 とり紹介されて の教員が一人ひ 入生誓いの言葉| 最後に、 高木 (入試学生募集課







保健医療学部 合計 看護学科 一学部 合計 理学療法学科 生概要

福岡保健医療学部

理学療法学科

看護学科 福岡看護学部

療福祉学部	放射線・情
 合計	報科学科

井上雅博)

医学部 合計 楽学部 合計 ● 医療福祉・マネジメント学科 薬学科 1 4 0 94人

医療福祉学研究科

1 2 3 4 2 7 9 8 1 1 0 0 1 1 5 0 3 8 4 4 3 3 人人人人人人人人人人人

保健医療学専攻

成田保健医療学部 理学療法学科 合

赤坂心理· 医療福祉マネジメント学部 心理学科 医学検査学科 言語聴覚学科 作業療法学科 合 計

●大学院新入生代表 元木文子さん

塩谷看護専門学校 (六日)



塩谷看護専門学校は四月

,ーション」に臨んだ。 「学科別懇談会」、 来賓懇親会並

> • 医学検査学科 • 言語聴覚学科 • 作業療法学科

視機能療法学科 言語聴覚学科 業療法学科

医学科

4

成田看護学部 看護学科

医療マネジメント学科

合計

薬科学研究科 • 臨床心理学専攻 • 医療福祉経営専攻

生命薬科学専攻

8 5 1

医療福祉学研究科

7 7 2 2 **0** 3 3 2 2 5 5 **0** 人人人人人人

医学研究科 修士課程

合計 合計

大学院

公衆衛生学専攻

医学研究科 博士課程 合計

医学専攻

薬学研究科 保健医療学専攻

● 医療・生命薬学専攻

* 研修生受入れ さくらサイエンスプラン

||シンガポール、ナンヤンポリテクニックの

|学生及び教員研修を実施

での日程で、来日した。 ン」研修プログラムでご 務一人の計一 授、公立カトマンズ大学から医学生四人と職 ス長であるプラタップ・ナラヤン・プラサッド教 人とマハラジグンジキャンパス医学 部のキャンパ ネパール・国立トリブバン大学から医学生五 一人が「さくらサ |月二||日から||八日ま イエンスプラ



か)」、近藤邦先生の講義「関連職種連携教育」など 学科の鈴木由美先生の講義「看護観(看護とは何

学生、八〇〇人超の留学 教員と六○○○人超の を擁し、約一〇〇〇人の

> ついてお話を伺った。 の内容やその意義に 日本のODA活動

> > 視察後、医療福祉・マネジメント

-学科の小嶋章吾先

生による講義「日本の医療制度」を皮切りに、看護

苑」、国際医療福祉リハビリテーションセンターなどを 科(RT)の関連施設や特別養護老人ホーム「風花

最初に大田原キャンパスに来校、放射線・情報科学

二日目は再度チョ

生が在籍している。

アルツハイマー、コッホ、

して入院病棟や臨

ライ病院を訪問

学、歯学、薬学、医療科学(看護、助産、理学

問して、現在ベトナム国内で進められてい

療法、公衆衛生管理を含む)、医学大学院

る医療系大学。

年に設立され、医

総領事館とI

ICA南部事務所を表敬訪

内視察を行った。午後は在ホー

医療・病院事情などについて説明を聞き、院

日目の午前中に本学の提携医療機関

ライ病院を訪問し、ベト

・ナムの

・ナンヤンポリテクニックの看護科教員のレオン・イ 国際医療福祉大学の協定校であるシンガポ

・ムン・ジェシカ先生と看護科学生の一〇人が三 五日から一六日まで本学で研修を行った。

協定を締結した。ヴロツワフ医科大学はポ

西部の国内第四の都市ヴロツワフにあ

国際医療福祉大学は三月一五日

学術交流協定を締結

ポーランド・ヴロツワフ医科大学と

*

ベトナム医療福祉体験ツアーに参加第八回高校生作文コンテスト受賞者が

のヴロツワフ医科大学と一般学術交流



山キャンパスでは赤居正美副 事情」を受講した。 大学院長による

育」を受講、東京青

「二一世紀の医学教

長による講義

講義「日本のリハビリ

情や医療制度について相互理解を深めると 場を視察。本学および関連施設の多くの方々 グループ施設では、医療や福祉の様々な現 ルの医学生や教授との貴重な ルの医療事

のご協力のおかげで日本とネパー

7 IUHW Public Relations Magazine 2018.5

理学療法学科

小田原保健医療学部

• 作業療法学科

領域の講義や実習を通し、「デ

医療マネジメント

学科では、医療と経営と情報

界や周辺領域で活躍できる人材の養成を目指

新任のごあいさつ

インクリニック学会認定医。

九州大学卒。医学博士。前九州大学医学研究院麻酔·蘇生学教授。厚生労働省認可麻酔科標榜医、日本麻酔科学会認定麻酔科指導医、明本麻酔科学

理事長として麻酔科専門医の育成および安全な周術で医療安全を推進するとともに、日本麻酔科学会のた。また、危機管理・安全管理担当の副病院長とした。また、危機管理・安全管理担当の副病院長とした。この三月生涯教育センター長を拝命いたしました。この三月生涯教育センター長を拝命いたしました。この三月生涯教育センター長を拝命いたしました。この三月生涯教育センター長を拝命いたしました。この三月生涯教育センター長を持ついた。 医療福祉を実践できる 人材を育てる

して、本学で質の高い医療福祉のエキスパートを育できることを喜んでいます。これまでの経験を生か医療全般にわたる総合的な人材育成に携わることが果を上げてきました。私も本学のメンバーとして、スタッフの育成に長年取り組み、これまで大きな成本学はわが国の医療福祉分野を幅広く支える医療 てられるよう尽力 いたします では、 人材育

格とした生涯教育の実践に努めてま 人に合わせたキャリアアップ九州地区の生涯教育センタ スクマネジメント、 医療倫理、 プを目指し、 感染管理などを骨 チ -ム医療、

(力を発揮したいと思っています。ご支援のほど、かける先進的で挑戦的で進取的な風土になじん」本学の持つ自由闊達な雰囲気の中、理想の夢をなどした生涯教育の実践に努めてまいります。 を追んで、

野呂 千鶴子



看護師・保健師免許取得後、三重県保健所保健師および健 康づくり政策、医療政策に従事。三重大学大学院医学系研 究科で修士(看護学)、神戸大学大学院人間発達環境学研 究科で博士(学術)を取得。2007年から三重県立看護大学、 園田学園女子大学において公衆衛生看護学教育に従事。

保健医療学部

医療の充実に努めてきました。

阿部 晶子



東京女子大学文理学部心理学科卒。国立身体障害者リハビリテーション センター学院 聴能言語専門職員養成課程卒。筑波大学教育研究科力 ウンセリング専攻リハビリテーションコース修了、修士(リハビリテーション)、 博士(心身障害学)。東京都医学研究機構・東京都神経科学総合研究所、 国立障害者リハビリテーションセンター学院言語聴覚学科を経て本学着任。 保健医療学部言

に大田原キャンパスの言 しました。二〇一二年 一二年

ェヨ旨 、てま、ります。ご指導、ご鞭撻を賜りますよう何統を大切にし、新しい時代に対応することで、さらなる発展言言耶拿 こく ファートー 卒よろしくお願い申し上げます。 言語聴覚士の育成に取り 科学的・論理的思考能力、専門的な知識と技術を有する 言語聴覚学科は、歴代の学科 **組んできました。本学科の良き伝** 長のもと、豊かな人間性と 語聴覚学科に赴任 一五年から副学科

看護学科長

保健医療学部

くご指導ご鞭撻のほどお願い申

教員とともに取り組んでいきたいと考えています。よろ実践力を持ち社会に貢献できる看護職の輩出に、学科基礎力を高め、時代のニーズに応じた看護の役割認識と います。大田原キャンパスの恵まれた環境の中で、看護のいます。大田原キャンパスの恵まれた環境の中で、看護のを考えた時、看護職者の果たす役割は大きいと考えて住み慣れた地域で主体的な生の全うを支援すること 高齢社会が進展する中だと思っています。超 とって魅力的なところ

その一端を担う看護は世界に発信し具現する 聖路加看護大学(現:聖路加国際大学)卒業、米国ピッツ

松谷 美和子 成田看護学部

学部長

監路加有線大学(現・監路加国際大学)卒業、本国とツッ バーグ大学大学院看護学研究科修了(Master of Nursing、 University of Pittsburgh)、東京大学大学院医学系研究 科修了(保健学博士)。前聖路加国際大学看護学部長・ 同大学院看護学研究科教授。東京都福祉局看護師等修 学資金貸与事業委員会委員長、日本看護学教育学会理事。 学部の学部長を拝命このたび、成田看護

たしました松谷です

す。IUHWグループ全体で保健医療福祉の新しい価値をかかわりを大切にする看護はその存在価値を増していま 問が看護学です。技術の進歩が目覚ましい中、人と人との わる働きです。その働きの質を整え、遍く届けるための学 し具現することが期待され 人々の健康に自らを介して直接かか # して、優れた内容を 類育・研究の拠点と 対育・研究の拠点と がローバルな時代にお がは、ます。成田キャンパスは、 れています よろしくお願いい

城間 成田保健医療学部 将江

年目

0)

創造するしくみを構築し、

一世界に発信して参りましょう。



科長を歴任。2017年、国内初の言語聴覚療法に関する国際学会「第10回アジア環太平洋音声言語聴覚学会学術大会」で大会長を務めた。 本学は医療福祉分野の任を拝命いたしました。 二三年目の春を迎える九九六年に入職してから 総合大学として栃木県 健医療学部の学部長の に至り、この度、成田保 大田原市に開学して以 本学開学

来約四半世紀となり、こ

り上げていくものだと実感しております。今後も生涯教育 もあり、大学の伝統は在学生と卒業生、教職員が一 職場でプロフェッショナルな仕事をして活躍しているおかげで されもせぬ存在となっております。それは卒業生達が各々の の間に小田原、大川 も含めて質の高いヘルス・プロフェッ 月、東京赤坂キャンパスに移転)と発展を続け、今や押しも押 福岡、成田、東京青山キャンパス(今四 ショナルの育成に努めます。

成田保健医療学部 医学検査学科長

長沢 光章

早 院授。長。 この度、成田保健医療特別等。また、大学院の臨床検査学科の学業を監験、そして国際貢献に順応できる人材を育るして国際貢献に順応できる人材を育るして国際貢献に順応できる人材を育るして国際貢献に順応できる人材を育るして国際貢献に順応できる人材を育るして国際貢献に順応できる人材を育るして国際貢献に順応できる人材を育る。また、大学院の臨床検査学

大学グループにおられます恩師の先生、知人の先生方とと思います。責任の重さを感じながらも、国際医療福祉 成していきたいと思います。療、チーム医療そして国際 分野長としても、教育および研究に力を入 うぞご指導を宜し 一緒に志を持てることの嬉しさも感じており れてい ます。

中 田

赤坂心理・医療福祉マネジメ

学部 心理学科長

福岡保健医療学部

学部長

光紀

早稲田大学、上智大学大学院を経て、東京大学大学院 医学系研究科(医学博士)。前産業医科大学教授。独) 労働安全衛生総合研究所研究員、米国疾病予防センタ -国立労働安全衛生研究所チーム・リーダーなどを歴任。 われ、心のケアの重要性 が指摘される中、医学的 が指摘される中、医学的 がお前されています。スト に強いカウンセリングが に強いカウンセリングが に強いカウンセリングが 「ストレス社会」と言

大宗会響 言われますが、上手にコースの一体教育を行うことで、社会で活躍できる心の心を飛躍・進歩させることができます。これからの時代が、全国に多数ある附属・関連病院とも連携し、大学等科では、最先端の心理学を取り入れ、発展させると同学科では、最先端の心理学を取り入れ、発展させると同学科では、最先端の心理学を取り入れ、発展させると同学科では、最先端の心理学を取り入れ、発展させると同学を表す。これからの時代によって、全国に多数ある附属・関連病院との一体教育を行うことで、社会で活躍できる心の地を表す。 専門家の育成をめざします。院との一体教育を行うことで、社会で活躍でき時に、全国に多数ある附属・関連病院とも連携

たく医療プロフェッショナルを育成したいと思っています。地と協力関係をさらに生かし、この地域から世界にはば的に交流をもっています。新任の学部長としてはこの立生(院生も)は、授業に、実習に、診療に、研究にと、日常

小畑 赤坂心理・医療福祉マネジメン -学 部

赤坂心理・医療福祉マネジメント

-学 部

学部長



金沢大学医学部卒業。東京大学医学系大学院(医学博 士)。米国スタンフォード大学アジア太平洋研究所客員研

究員、ハーバード大学公衆衛生校武見フェロー、第14回 日本医療経営学会学術集会・総会大会長などを歴任。

赤坂心理・医療福祉マ 泰です。今後、人工知能 泰です。今後、人工知能 進む一方、ストレスが増 大することが予想され 大することが予想され

団常務理事などを経て、国際医療福祉大学 医療マネジメント学科では、東京赤坂キャンパス・

無無法療 一般企業にも活躍の場が広がります。すで に授業が始まっており、一期生の皆さんがさまざまな課 に参入する一般企業にも活躍の場が広がります。すで に参入する一般企業にも活躍の場が広がります。

野」で活躍できる人材を育てることを目的として理学科では、今後社会で急速に必要とされる「臨っる分野は、「心のケア」と「データマネジメント」です

「学科では、今後社会で急速に必要とされる「臨床分

タマネジメント」です。心 時に最も必要となってく

洋 医療マネジメント学科長



早稲田大学文学部卒業。読売新聞社会保 障部長、社会福祉法人・読売光と愛の事業

だれもが健康で安心して暮らせる社会のために貢献すを取得すると同時に、コミュニケーション能力を身につけ 1ミュニケーション能力を身につけ、います。専門知識を学んで資格一期生の皆さんがさまざまな課

連携チー

師を輩出すべく、即戦力となる看護師の育成に力を注いでいく所

塩谷看護専門学校

よろし

くお願い

岩本



東京医科大学卒、医学博士。前東京医科大学老年病

学教授。前東京医科大学病院病院長、日本老年医学会認定医、指導医、国際医療福祉大学塩谷病院高齢者総合診療科部長。国際医療福祉大学医学部教授 あります。以来、本学の掲げ護専門学校となった経緯が 二○○九年四月に現在の看連塩谷看護専門学校を経て 校として開校し、栃木県厚生 校学校長に就任いたしました 本校は、一九六六年准看護学 このたび、塩谷看護専門学 ーム医療・チー

常に高い看護師国家試験合格率には目を見張るものがあります 気力溢れる学生の力で発展した看護学校と伺っております。事実 貢献できるエキスパー 今後はこのような高いレベルを堅持しつつ、患者様中 ムの中で専門的な役割を十二 育成」をモ 一分に発揮できる優秀な看護 、行き届いた看護教育と 心の多職種

新任のごあい

●ST伝達式記念撮影

●MT伝達式:全員での記念撮影

準備を整えている。二○一八年度は、過去最高となの研究拠点として、多くの研究者を世に送り出す

ャンパスは、交通の利便性が高く、新たな医療福祉

して機能してきた。四月より開設した東京赤坂

福祉の研究・学習拠点と

にわたり東京地区の医療 目に移転し、約一〇年間

る四○三人の入学者を迎え、大変活気のあるスタ

rとなった。大学院運営室では、各キャンパスと連

実りある大学院生活をサポ

大田原キャンパス学位記授与式

平成二九年度学位記授与式

課程・医療福祉 業生総代の井 年度学位記授与式」を三月七日、 ネジメント学科) 校歌斉唱に続き、 大田原キャンパスにおいて、 **上亜佳音さん(医療福祉・マ** 大友邦学長から学部卒 三浦総一郎大学院長 平 挙行.





率も一○○%だった。

情報科学科)の「卒業記念品贈呈」をもっ 院)学位記伝達式」に臨んだ。 て閉式。その後はそれぞれ 総代・代表による 生謝辞」に続き、 近田実紀さん 「卒業生謝辞」 「学科別 (大学 (放射線・ 修

塩谷看護専門学校卒業式

堂で卒業式を執り行 塩谷看護専門学校 八日、本校講



て看護師国家試験合格率 たな門出を祝った。今年 ただき、四〇人の新 · の 卒 一〇〇%で、 应。 就職

小田原キャンパス学位記授与式

述べ、

に学位記が授与された。 をはじめ多くのご来賓、保護者、教職員に見院長、桃田寿津代神奈川県看護部長会会長 市副市長、小森哲夫国立病院機構箱根病院与式が三月九日、行われた。時田光章小田原 生一七人(博士課程七人、修士課程一〇 理学療法学科四五人、作業療法学科四四人)守られ、学部生一四七人 (看護学科五八人、 守られ、学部生一四七人(看護学) 小田原保健医療学部・大学院の学位記授 小田原・熱海キャンパスに所属する大学院

欣男様、矢板市

長・斎藤淳一郎様か

与された。

学位記を受け取った総代は赤塚みなみさん 大友邦学長、三浦総一郎大学院長よ

賞」として、理療法学科梅木伽那さん、

、作業療

また、全国リハビリテ

ション学校協会「優秀

井杏奈さんに学長賞が授与された。

医学検査学科の西之園栞さん、看護学科の

学療法学科の新郷怜さん、作業療法学科の佐

佳さん、言語聴覚学課の三野倭歩さ

さらに、各学科の学業成績最優秀者である理

学長賞が黒岩薫さん(看護学科)、西本早織 程)、三澤眞理子さん(修士課程)。続いて、 さん(理学療法学科)、赤塚みなみさんに授

(作業療法学科)、竹

香 名子

ん(博士

お祝いのメッセー

-ジが届いた。

が行われ、終了 代表して西島勇さん(修士課程)より謝辞、西 本早織さんより学部生の卒業記念品の贈呈 学部生を代表して黒岩薫さん、大学院生

会。小田原キャンパスで培った絆が、卒業生たち映され、卒業生の歓喜の声の中、謝恩会は閉

にとって未来への大きな力になることを願って

(学務課

下田智香子)

方への感謝のメッセージが込められた動画が上見られた。各学科から四年間の思い出と先生

囲んで先生方と思い出話に花を咲かせる姿が

荒木田副学部長の乾杯を合図にテーブルを

位論文を完成させこの日を迎えた大学院修 としてのスター 生の今後の活躍を教職員一同祈念している。 看護師、保健師、理学療法士、作業療法 トラインに立つ学部卒業生、学

合同学位記授与式 大川キャンパス・福岡キャンパス

(総務課 高久晃)

謝恩会

与式·学位記 学位記授 伝達式の終









三人) を代表し、福岡看護学部看護学科の白院修了生三八人(博士課程五人、修士課程三

聴覚学科四三人、医学検査学科九五人)大学 療法学科九二人、作業療法学科四六人、言語 まり、学部生三七四人(看護学科九八人、理学 浜の福岡国際医療福祉学院体育館で行わ

合同学位記授与式が三月五日

福岡市百

道

福岡保健医療学部、福岡看護学部、大学院

た。校歌「あすへの扉」の斉唱により厳かに

始

井杏奈さんに、学部総代として大友学長より



総代の大内田博文さん、修士課程総代の的続いて三浦総一郎大学院長より博士課

場

美千代さんにそれぞれ学位記が授与された。

学位記が授与された。

立看護系大学協会「会長賞」看護学科浜田等

して、医学検査学科上田彩咲美さん、日本私 さん、日本臨床衛生検査技師会「会長賞」と 法学科平石彩乃さん、言語聴覚学科坂田莉菜

大学院学位記授与式

ジメントのプロセスエ・木内 千晶 「 「療養病床の看護職におけるワ

博士課程修了者・論文博士合格者一覧医療福祉学研究科/薬学研究科

高山 裕子 「子育て中の女性看護師のレジリエオ田 尚惠 「大学病院に勤務する新卒看護師のレジリエンアウトの影響要因―子育て時期の視点から―」

竹中 香名子 「養護教諭による就学時保健情報の学校鈴木 明美 「胃切除術後患者の身体活動と全身持久性体力の関連

・土屋 陽子 「地方自治体の人材育成基本方針における・土屋 陽子 「地方自治体の人材育成基本方針における実証的検討―」 発―母子保健における実証的検討―」 「行政保健師の家族支援実践力尺度の開発―母子保健における実証的検討―」

●挨拶される三浦大学院長

・櫻田 弘治 「心不全患者の各死因とObesity paradoxの関係」
 ・THANDA AYE 「Relation between gross motor skill development and socio-demographic factors among public and private primary school children in Myanmar」
 ・鈴木 あかり 「地域在住高齢者に対する咳嗽力改善プログラムの効果」

「呼吸筋疲労に対する呼気筋ト

レーニング(F

「最大口腔内圧法による呼吸筋力に自立アセスメントシートと動作レベルスコアをご 「回復期脳卒中患者における歩行自・

祝辞を頂き、西之園栞さんの「卒業生謝辞」、

新たにした様子であった。 が贈られ、参加者は心を 究者生活への激励の言葉いの言葉と、これからの研

様、大川商工会議所会頭津村洋一郎様より

による「卒業記念品贈呈」をもって閉式となっ 久保田勝徳さんの「修了生謝辞」、新郷怜さん

(事務部

也

○○七年に青山一丁

●学位記伝達式会場の様子

山キャンパスは

ご来賓を代表して福岡県議会議員・蔵内勇夫たにした。三浦大学院長の式辞に続き、多数の

だろうが、その失敗から学ぶという謙虚さ忘れ 現場では毎日が勉強の場であり、失敗をする

総一郎大学院長より、こ

修了生が参加した。三浦

れまでの研究生活への労

実施され、百人を超える 伝達式、修了生歓送会が

ずにいてほしい」との激励の言葉に皆決意を新

間としての豊かさを具えた、こころのエキスパー

として活躍されることを期待している。医療

齢化が進む中、高度な医療知識とともに、人

大友学長からの式辞では「かつてない少子高

べき年となった。

人を超え、記念す

また三月九日には東京

山キャンパスで学位記

れまでの大学院の修了生が修士と博士を合わせ

した学生を含めると、こ

として甲種・乙種あわせて一二人に博士の学位

|博士あわせて二八五人が修了、また論文博士大学院の学位記授与式が三月七日行われ、修

さん、日本言語聴覚士協会「会長賞」言語聴

科杉本文乃さんの八人が表彰された。

療法学科川口舞子さん、日本作業療法士協会 奈さん、日本理学療法士協会「優秀賞」理学

「優秀学生賞」として作業療法学科佐藤良亮

「適運動負荷量の推定に関与する評価指標~何 「維持血液透析を受けている心不全患者 有する女性における腹部引き込み運

東道指導」 市毛 雅之 「中学校の必修科目・ が腹部体幹筋厚に及ぼす影響」 しての「武道」にお

『トレーニングの検討』 佐野 徳雄 「姿勢制御機能を向上させる新たな足趾機

機能、不安・うつり間で…・小暮 英輔 「周術期消化器・小暮 英輔 「周術期消化器・

放射線·情報科学分野】

KHIN MOH MOH HTWE 「Texture analysis of the susptibility MR imaging of Substantia Nigra in Parkinson sease using quantitative susceptibility mapping」

ム障害の社会的認知の特異性

知と共感性からの検討! アルツハイマー病における語想起障害!意味的クラスター形成からの検討! 味的クラスター形成からの検討! 【医療福祉経営学分野】

・田邊 康解析―HR 解析―HR を田中 宏 工乗せ治療の費用効果分析出邊 康祐 「慢性心不・が―HRMにおけるネット」 心不全患者に対するエプレレノンによふ。不全患者に対す。「行動的構造変容」のム医療における「行動的構造変容」の

dean Divergence using Cerebral Infarction Cases in China and Japan J

・荒添・美紀 まさまさん! 「認知症患者の退院をめぐる職種間連携で・ネットワーク開発研究分野】

考察する~社会福祉サービスのパラダイムチェンジの時代に向けて~」・星野・晴彦・「障害者福祉サービスをホスピタリティの視点から「医療福祉ジャーナリズム分野」

会的視点取得の観点からの|考察~|・平間(さゆり)「犯罪者の共感性と対人認知の研究~|医療福祉心理学分野]

る膝関節外

型 凜太郎 「恐怖条件付けストレス反応に対す 凜太郎 「恐怖条件付けストレス反応に対ける regulation of emotional behaviors and behaviors and the state of the state

1 IUHW Public Relations Magazine 2018.5

平成二九年度 学位記授与

IUHW Public Relations Magazine 2018.5 10

唐津西高等学校出身)

作業療法学科 佐藤 里佳 (熊本県立

の教職員の皆様のサポートがあってこそ続けられではありましたが、職場の理解、国際医療福祉大

最後に修士課程二年間は仕事との両立で、大変

The International University of

Health and Welfare (IUHW) has a

short history of providing educa-

tion and training compared to

other universities in Japan. How-

ever, its dedicated professional lec-

turers, variety of teaching meth-

ods focused on learners, and

modern facilities create an innova-

tive, dynamic learning environ-

ment for students. During my two-

year master1s program in health

sciences, I realized that IUHW is not only a school but

also a home where mentors act as parents and other

students act as brothers and sisters. They were willing to give me advice when I needed it, and my supervisors

drove me more than 20 times on sunny and rainy days

to collect data for my research without complaining. As

a foreign student, I encourage junior students to partici-

pate in the school's activities because doing so will help them become more confident and easily integrate in

the university. Furthermore, they can meet many people, make new friends, and learn more. I believe that

with the experience and knowledge I gained at IUHW,

I will certainly achieve success in the future.

と思っています。この場をお借りし感謝申

学長賞・大学院賞

福岡保健医療学部

理学療法学科

野へ伝える事の大変さ、さらには社会人修士とい 究を聞くことによる収穫や、自分の研究を他分修士課程在籍中は、自らの専門分野以外の研

形であったので、より効率的に研究を行うため

'目標を持ち、計画的に行動する事の大切さ したらよいかなど色々と考えさせられま

たと感じてい

白井 杏 奈 科

木口六(福岡県立福岡高等学校出身)

卒業生総代

<u>-</u> = %

研究を論理的にかつ正しく伝えるために基礎から研ましたが、臨床業務の傍ら研究を行う上で、効率よく

度学び直したいと思ったからです

D 作保修

goc Tung 原法学分野 野球

業健課

後、放射線治療を専門に臨床業務と研究も続けてい

私が大学院修士課程を目指した理由は、大学卒業

岡看護学部

友人と楽しく過ごすことができました。入学し

総代





白井 杏奈 福岡キャンパス

安を感じることもありましたが、常に努力し続習においては、自らの未熟さを痛感し将来に不

ることの大切さを学び、それらを乗り越えた

多くのことをご指導いただきました。臨床実



攻

能登山 桃子 科機能療法学科

大田原女子高等学校出身,(栃木県立

様々な分野で活躍しており、患者さんの生活にものでしたが、実習などを経て、作業療法士はたばかりのころは作業療法士への理解は曖昧な 友人、熱心に指導してくださった先生方に支えることもありましたが、共に切磋琢磨し合える 実習や国家試験の勉強は辛く、挫けそうにな感じました。楽しいこともたくさんあった半面、 られ、無事に卒業することができたと思います 密着した職業であり、とてもやりがいがあると 大内田 博文 言語聴覚分野 保健医療学専

























大田原女子高等学校出身) 舟守 千瑞子 (栃木県立



井上 亜佳音医療福祉・マネジメント学科医療福祉・マネジメント学科

長することができました。 と向き合う時間の中で、人間として大きく成 と、かけがえのない人々との出会いや自分自身 **个安を乗り越え大きく成長** 諸先生方には、専門職としての知識や技術 今私たちは新しい 大学生活では、数多くの貴重な経験 社会人や医療人としての心得など 歩を踏み出そう

て家族のような医療・

を切ることとなります

が、患者さんにとっ

これから、作業療法士として新たなスター

ことが自信に繋がりました。この四年間共に支 いることと思います。まだまだ未熟な私達で今後私達には多くの困難や岐路が待ち受け 合ってきた友人達、そして陰ながら見守ってく た家族には深く感謝しております 手の立場に立った医療や福祉

海外研修、臨地実習

々の専門性高い授業に加

保健師実習などの様々

保健医療学部

医療福祉学部

近田 実紀 放射線·情報科学科

下館第|高等学校出身]

が、国際医療福祉大学で学べたことに誇り

何かを含め私自身の考え方や生き方を見つめ な経験を通して多くのことを学び、看護とは

し、自分が目指す理想の自分を追究するこ

君島

理沙



小田原保健医療学部

黒岩

薫

看護学科

三野 倭歩 (熊本県立

博士課程 理学療法学分野 Thanda Aye (家

(タンダ・エイ)

保健医療学専攻

西本 早織

西之園 栞

^罡 早 織

国立高等学校出身)

療法学科

大学院長賞

The doctoral program for Physical Therapists

(PTs) is not available in Myanmar at the mo-

ment. International University of Health and

Welfare (IUHW) in Japan offers the scholar-

ship programs for PTs in Myanmar through

the academic interaction agreement with three

medical universities in Myanmar over the past

few years. As I wanted to be a qualified leader

of PTs, I applied for IUHW scholarship to

I was able to do main graduation research and

other small researches, and share the research

findings as journal publications and conference presentations dur-

The best thing about the education system of IUHW is "student-

centered approach". IUHW provides an opportunity for both na-

tional and international students to network, share each other's cul-

ture, and make a global society. I was able to learn not only study

but also Japanese language and culture. Three-year study period

has broadened my horizon and given me a good relation between

I have brought back the knowledge and skills that I have learnt at

IUHW to Myanmar. I am now trying, with the support of the Rec-

tor and my colleagues, to establish the doctoral program for PTs at the University of Medical Technology, Yangon in near future.

study three-year doctoral program in 2015.

ing my study period at IUHW.

Japan and Myanmar.

みなみ

神

卒業生総代

(一二ページに掲載)

高橋 良 放射線·情報科学分野保健医療学専攻

本学での四年間は日々の勉強に追われつつも

患者さんなど多くの人々の支えのおかげであ く卒業できたのは苦楽を共にした友人、先生とができました。また、本学科を晴れ晴れし 、本当にありがたく思います。これから医療 臨地実習でお世話になった指導者の方々、





















医療福祉・マネジメント学科 (栃木県立黒磯高校出身) (一二ページに掲載)







薬学部



湯山円晴

13 IUHW Public Relations Magazine 2018.5

パスレポ

原

Campus report 第113回 キャン

全日本学生スノボニ連覇小鍛冶さん 鍛冶さん

を果した。兄の航さんも男子SXで入賞 本学生スノーボード選手 し兄弟そろって表彰台に上がった。 .県で一月下旬に開かれた第三〇回全日看護学科四年生の小鍛冶渚砂さんが長 ードクロス(以下SX)において二連覇・生スノーボード選手権大会の女子スノ



指す競技 数の選手が一斉に滑走し、雪で作った凸凹 などを通過しながらいち早くゴー 雪上の格闘技とも呼ばれている。 小鍛冶さんは二連覇に向けて夏は筋力 SXは冬季五輪の正式種目であり、複 。滑走時時速八○キロほどにな -ルを目

目指したいと夢を膨らませている。護師として社会に、そして競技では世界を んは、学業と競技を両立させて来年は看励んできた。今春四年生になった小鍛冶さ レーニング、冬はスキー場での弱点克服に

准教授 入江浩子)

第11回 キャンパスレポ

高大連携に関する協定に調印成田国際高等学校と



る高大連携事業の協定第クール指定校で、成田キ

成 田

ャンパスにおけるローバルハイスク はスー 学の学生がイベン 一号となった。 まざ 今後、 留学生を含めた本 授業、 課外活動な



●2/17に行われた成田山新勝寺交流会: 成田国際高のディベートクラブの生徒が 本学の留学生別科生を英語で観光案内した。

三人一グループDが用意され、 ユレータとAE 四七台のシミ となって心臓マ サージ、人工

操作などを体呼吸、AED 験した。 こうした大

命·普及員講 昨年、上級救 実現したのは、規模な講習が 習を修了 年、 た

「当ちよ邪の隊員と本学教員のサポート験と筆記試験を受けて修了となる。成田乳児の心肺蘇生法、搬送法を学び、実技試乳児の心肺蘇生法、外傷時の手当、保温習は普通救命講習の内容に加え、小児・習は手通教命講習の内容に加え、小児・ 立場を物語っており、彼らの今後のさらと指導する姿は、後輩を迎えた一期生のを受けながら、緊張気味の新入生を堂々を受けながら、緊張気味の新入生を堂々 二年生四五人がインスト なる活躍に期待を抱かせるものであった ケ して参

金井雅之)

ウェルカムBLS講習を受講医学部一年生が

ョンセンタ 四月七日、 医学部WA棟のシミュレ 内 B LS室で、



●47体のシミュレータが並んだ壮観な講習会場

プター「もりん は、公津の社 は、公津の社 は、公津の社 は、公津の社 は、公津の社 は、公津の社 は、公津の社 は、公津の社 などのご協力を宣伝・回収場所 ただき、

今後は、学用品なども寄贈できたらいい子どもたちも楽しみに待っていると思う 学内でも六個集まっ で新品同様。子どもたちが大切に使って たことがわかった。アフガニスタンの た。 どれもカラフ

(言語聴覚学科二年 足立愛生)

を上回る二二五個 予想

第36回 キャン パスレ

コニャン大学受入研修

修のため来日した。 一三人と教員一人が二月三日 韓国コニャン大学の看護学科二・三年

た。施設見学では九州大学演習、施設見学を取り入れ 病院、福岡県看護協会、その 護の専門性」をテーマに講義 後、高木病院、柳川リハビリ である「関連職種連携と看 今年は本校の教育の特長 ーション病院、柳川療育セ などを見学した。「多



話も聞けてとてもよかった」などと好評だった。 ができて良かった。各施設で 院の特別な設備(ICU・HCU)や関係者の. てから見学ができたので理解しやす ·交流では本学部一、二年生からボラン

ティア学生を募り、早くから学生たちが企画 をめざした有意義なプログラムとなっているこ 加したい』」との声が届き、グロー くの学生の『国際医療福祉大学の研修に参 験となった。帰国後に「研修発表を聞いた多 学生にとっても良い刺激となり、有意義な経 準備を行った。施設見学や演習にも参加し、

福岡看護学部国際交流小委員会委員長 山口みどり

キャンパスレポ

福岡

フェスタに参加福岡市介護実習普及センター

「『折り紙』体験ブ 紙』活動を通じた地域交流を目的として、 センターフェスタに、本学部の学生二人と地域 ふくふくプラザ(福岡市市民福祉プラザ) 一月二四日行われた福岡市介護実習普及 ス」を提供した。 五人が参加し、『折

展示、音楽療法の実運動教室、自分史の 演などで構成されて 演会、ミニシネマ上映会、 は認知症に関する講 があり、イベント全体 同フェスタは毎年の 人超の来場者

制作するコー り紙とそれらのパーツを貼り付けてカー ル展示と資料配布、実際に菜の花や桜の いる。本学ブ 『折り紙』活動で得ら ースでは、 を設けた。 を 示し

との声 が対応することで大学や看護について紹介で 応があった。『折り紙』活動の拡張性を感じ 得意な作品を披露される方など様々な反 子どもの成長やセンスに気付いて喜ばれる方、 方をお尋ねになる方、遊びを実践する中で に取り組んだ。施設での活動の参考にしたい ら五八人が来場され、学生・教員と共に制作 家庭介護者、高齢者、子ども連れのお母さん介護事業所に勤務する介護・看護職者や 、創作活動が苦手な高齢者へのすすめ 一人ひとり

平田智美

〜糖尿病 公開講座 糖尿病予防セミナー~

市生の松原グリーンハイツ集会場)を実施 三日、「糖尿病予防セミナー」(場所:福岡 福岡看護学部の公開講座として三月一

三〇分ほどのエクササイズを実 助教が実演し、参加者の皆さんと共に合計 量と運動消費カロ では、食品成分表の見方、食品のエネルギ 事と運動、何ができそう きる有酸素運動を森雄太助教、阿南沙織 しながら解説した。講義後、椅子に座ってで 仙波洋子講師による「糖尿病予防--」と題した講義 体例を示

運動でも皆さん汗ば 活発な質問があり、 食品や運動について じて活動をされており、 サロン」で、年間を通 地域の自主グループ「グ むほど熱心に取り 一七人の参加者は ンハイツふれあい

通じて大学の活動を知っていただく機会と だけでなく ての対象に働きかけ、活動の充実感が増す 機会を得た。少人数グルー 域での暮らし、高齢者の見守 ブ旅行、子育て支援など様々なお話を伺う 終了後は参加者、地域交流小員会メンバ 五人全員で、お茶菓子を楽しみながら地 地域住民の声が聞こえ、そ ・プでの活動はすべ り、終活、グル

平田智美)

アフガニスタンにボランティアサークルが セルを寄贈

費用、 教育の機会に恵まれない子どもたちにこ以前、ランドセルの処分に迷ったときに 決心した。初めての試みなので、団体選び れを役立てる活動があることを知り、 の子どもたちに寄贈する活動をしている。なくなったランドセルをアフガニスタン き課題が次から次へと出てき クルに入ったことをきっかけに参加を ームのひとつ「アフガン7」 回収方法、 クル M A H 場所などやるべ は、

●アフガニスタンに向けて送り出されるランドセル

韓国大邱韓医大学臨床検 キャンパスレ ポ

第50回

研修生受け入れ韓国テグハニ大学

施しているもので、今年度で三回目 で研修を行った。本研修は二〇 九日まで福岡保健医療学部

負一人が一月一三日から 査学科の学生一一人、引率1

検査の意義は韓国でも知られているが、このような 熱心に取り組み、「画像診断に必要な解剖学・ 教の指導のもと、韓国学生は高性能なシミュレ 音波実習を行った。医学検査学科の安田聖子 回初の試みとして、隣接する高木病院内に設置さ 査学科の教員と学生が中心となり実施した。今 流に分かれ、それぞれ福岡保健医療学部医学検 実習は初めて」と興奮した面持ちで感想を語った 理学的知識も深められる。侵襲性の低い超音波 を用いた画像診断・プローブ操作のトレーニングに れた福岡シミュレーション医学センター 研修プログラムは講義、実習、施設見学、学生交 学生交流では、本学学生とともに太宰府天満 助超

親睦を深めつつ、日本の文化や歴史に触れる機会 となったようだ。 宮、九州国立博物館を観光した。日本の学生と 二〇一三年に交流協定を締結した大邱韓医

学科の学生五四人が大邱韓医大学 びつきが強く、今年度の海外研修では医学検査大学と本学とは医学検査学科を中心とした結 大学と本学とは医学検査学科を中

15 IUHW Public Relations Magazine 2018.5

海外保健福祉事情(オーストラリア

オーストラリア 外国人への対応の

グリフィス大学での 看護学科 教授 藤田京子

保健医療学部

キャパシティを広げる体験に

て帰国時の表情の違 なった。それは研修 学生たちにとってか 二週間におけるエキ からもひしひしと がえのない経験に イティングな体験は、



すことで、TOMODACHI HOURの際にも活

療・日常生活の両面で充実した研修であった

TAFEゴールドコースト 重要なグローバルな オーストラリア

医療福祉・マネジメント学科 教授 松永千惠子 人材育成のための海外研修

事情についての知識・理解を深めることであった。 人)と教員二人 リア一四日間の研修に向けて出発した。当研修 目的は語学研修とオー 成田と大田原の学生三八人 (途中参加者 ラリアの医療福祉

ば食器の洗い

方

●全員でグレートバリアリーフを満喫!

生活様式、例 日本とは異なる

や風呂の節水を

ミュニケ

は、卒業後出会うであろうケアの対象となる

かなり軽減したようである。このような経験

と関わろうとする勇気と姿勢が培われ、コ

-ションに対する戸惑いやためらいも

英語漬けの生活体験に

もに、わが国の医療を見つめ直す機会になり、 外国人への対応のキャパシティを広げるとと

バル化に対応できる人材育成とし

講義がある その他にTAFEで認知症や介護技術と 事情については、高齢者施設や大学病院の見学、に分かれて研修を受けた。現地の医療福祉の 語学研修では、まず英語力に応じて四クラス に関する

後に研修中ご協力いただいた皆様に心より て役に立つ重要な学習であると実感した。最

身についた自分の意見を

人に伝える姿勢

を確認する良い機会と 互いの国の特徴や課題 護者保護のため法律に より機械を使うことが リアの介護技術は介

ぶことができた。授業形式は日本とは大きく ならではの医療の問題点や日本との違いを学

講義や施設見学を通して、オー

保健医療学部

二年

山田涼香



●Allamanda Private Hospitalにて

な海外研修が重要であるが、引率教員を支えて くださったTAFEの担当者、通訳、ホストファミ 、国際室の方々には深く感謝を申し

理解や自分達の思いを伝えることに苦しむた。医療英語だったこともあり、授業内容の

異なり、ディスカッションを主として進められ

こともあったが、みんなで協力し乗り切るこ

図ることを学ぶ 自分自身で意志疎通を

医療福祉・マネジメント学科 二年 島田廉大

るという姿勢が今回の研修で皆、身に付いた。 活発な授業になった。自分の意見を人に伝え とができた。日を重ねるごとに慣れ、とても

またホームステイで英語漬けの毎日を過ご

ションをとることができた。医

は、コミュニケ 外研修に参加したからこそ学べたと思うこと が学べたことがあると思う。その中でも私が海 様々な国の人と同じクラスで英語の授業を受 今回の海外研修を通して、参加者それぞれ ションの取り方だ。海外研修では

話すことができた。それ以降、英語を必要と 講し、会話が必須とされる機会が多々あった。 分の持つ力で様々なことに恐れず挑戦したい 後の生活にも通じる学びだと思う。今後は自 えたいと思い拙い英語とジェスチャーで何とか が、回を重ねるごとに相手に自分の意見を伝 たため、最初は受け身になってしまっていた。だ 力で意思疎通を図ることができた。これは今 私自身英語を話すことを得意としなかっ るときは話すことを恐れず自分の持てる

TAFEケアンズ

学ぶことが海外研修の醍醐味文化的背景を含めて

望月聡|郎

て異文化の中で生活を経験し、各々の家庭した。学生諸君は、ホームステイ生活を通じンパス、成田キャンパスから学生一四人が参加 生活を満喫したようである。 ストラリアのケアンズには、小田原キ

> ども、無事に楽しく過ごした二週間であった. い湿度とたびたびの豪雨にもかかわらず、小味であろう。季節は真夏の雨期であったが、高 ぶことができたのは、海外研修ならではの醍醐 民族国家ならではの文化的背景を含めて学 田原保健医療学部看護学科の青柳先生 課題 多民族国家ならではの 理学療法学科 小田原保健医療学部 ストラリアの保健福祉事情について多

文化の違いである 祉事情で多くの まず、日本との ことを学 海外保健福

言葉一つ一つを自分の頭で考え発音しなけ の勉強だ。日本での授業は TAFEでの 英 語 経験した。次に、 海峡諸島民)の健康問題など、多民族国家 療体制を学び、先住民(アボリジニー ならではの課題についても学ぶことができた。 を学んだ。最後に、オーストラリアの保健医 ればならない。積極的に英語を話す楽 とができるが、英語しか使えない ため伝える

の大きな収穫であった。ホストファミリ 多くのことを体験し学習したことは今

看護学科 教授 成田看護学部

フの方 々のて 医学検査学科 二年 清水宏樹

半(日本時間)にホテル到着という状況に始初日二時間遅れの出発で夜中の午前三時 TOMODACHI HOURも大いに盛り まり、最高気温三五度の中での研修であった 的なものの不変性を感じることができたし、 は文化的な背景による差異や多様性、本質 ご配慮により安心して研修できた。 医科薬科大学病院研修では医療事情を、見 学生らが感じた「多様性、 看護学科 教授 新藤悦子 本質的なものの不変性」 本研修は、ニキャンパろ二学科の学生計一 一つの病院では、スタッフの皆さまの温かい チミン医科薬科大学の学生達との交流 ホーチミン医科薬科大学病院 ではベトナムの文化や歴史を学 ーライ病院及びホー

病院スタッフの丁寧な指導病院研修の不安を解消してくれた

が、全員元気に、事故もなく最終日を迎える

ことができた。皆さまに心より感謝したい。

リスチャン大学の支援を受け、夏季に続き

目の研修である。寺院を利用

学生二四人と引率教員二人で一月二七日

○泊一一日のタイの研修に出発した。

言語聴覚学科 准教授成田保健医療学部

菅野倫子

成田保健医療学部

端に接することができた。

また、タイ伝統のハーブやマッサ

老人施設などを見学し、タイの医療事情の一

IVホスピス施設、私立病院や公立病院、

感じていた。しかし、案内してくれた病院スタッもなく、ベトナムでの病院研修に対して不安を 研修前は、まだ日本の病院で研修したこと 寧な指導で不安はすぐに消えた。

ができ、勉強になった。また研修中、メンバー アの鑑別方法を実際の検体を用い 病院研修では四日熱マラリアと三日熱マラ

の血肉となり、広い視野と深い洞察を育んでとっても有意義であった。今回の経験が彼ら

たチャンギ総合病院など医療福祉施設はどる

チャンギ総合病院など医療福祉施設はどこもから三月五日まで研修を行った。見学に訪れ赤道直下の都市国家シンガポールで二月二四

ながら共に過ごせたことは、引率教員自身に 感じながらも生き生きと活動する様子 深かった。学生と共に見学やアクティビティに している点も文化的背景を感じさせ、興味

し、彼らが異文化の中に飛び込み、壁を

がり、話し合いから境が自然と出来上見を出し合える環 取り組んでいこうと も気づかされた。 自分の勉強不足に を得ることができた。 多くの学びや気づき 方、研修を通して 上に勉強に

五个

능



薬学科 二年

経験も思い出も全てが大切な宝物

非常に清潔で最新の機器が完備されており、学

義では、少子高齢化などシンガポ

その一方、ナンヤン・ポリテクニックで行われた講 生たちからはしばしば驚きの声が上がっていた。

しかし、何よりも強く記憶に残っているのは、

●修了式-ホーチミン市医科薬科大学にて タイの人々の優しさである。クリスチャン大学で な治療やそれと対照的な最先端の医療の を学べたのはもちろんのこと、タイの伝統的 えてくれた。タイ語やタイダンスなどの文化タイでの一二日間は私に刺激と感動を与 方の現場を知ったり、エイズ患者の悲惨な現 状を目の当たりにしたりした。

のおばさんはこれでもか 生方は楽しんでもら は電光掲示板に私たちの名前を表示して歓迎 た経験も思い出も、全て というほどサ 行ってくれた。また、屋台 してくれたり、現地の先 大切な宝物である いる。この研修ででき と様々な場所へ連れて れた。タイで関わっ

活動する学生らの姿有意義に感じた異文化の中、

クリスチャン大学



鱗をつかんでく

モデルルー

印象に残った高齢者用

看護学科 二年

稲葉日向子

小田原保健医療学部

暮らせるような施設がたくさん整備されてい た。その中でも特に印象に残っているのが高齢

ナンヤン・ポリテクニックチャンギ総合病院

主任 高須賀笠女 医学部教授・総合教育センタ 「国際社会」の縮図

どう感じた?多民族が共存する

全に暮らせるような工夫がなされてい

また、現地の医療事情に関する講義を英

族に知らせるシステムなどがあり、一

学生との交流も海外研修でしか味わえない 語で聴講したことやナンヤン・ポリテクニックの

れた医療福祉施設だけではなく観光地も素

や、センサーで生活行動の異変を読み取り家

者用住宅のモデルルームである。そこには認知

症患者の記憶に残りやす

い色を使っ

た家具

研修の主目的だが、英語など複数の言語を使い

●シンガポールのシンボル 「マーライオン」像(右)の前で

するシンガポ

ルは、

あ

ながら多民族が共存

-ル社会が直面

するさまざまな課題について学ぶことができた。 もちろん現地の保健福祉事情を知るのが本

の縮図である。その現

る意味で「国際社会」

際的である」とはどう 実を見て学生たちが「国

うことなのか、その片

住宅の

、高齢者の健康を増進させ、かつ安心して

ルは日本と同じく高齢社会であ

のプログラムでは、英語で表現する楽しさを学

TAFE (Technical and Further Education)

塩谷病院運営協議会を開催

会は、栃木県、矢板市などの 自治会な

毎年開催している。 ど地域医療関係者を を議論する場として れる病院のあり えて、現状の課題や 後の改善策など、地 病院に求め る 一

博美副会長よりご挨 渡辺晃紀主幹、塩谷 福祉部医療政策課の 医師会の阿久津 ただいた後、事

出席者より意見を頂戴した。 務部長が一年間の実績報告を

域の基幹病院として、他機関との連携を密に 確保」の問題で、引き続き行政と親密に協力 合うことをお互いに確認し合っ

矢板市の齋藤淳一郎市長、塩谷広域行政組 合消防本部の槇孝次消防長をはじめとする ただいたご意見で最も多かったのが「医師 その

クリティカルパス講演会

いて講演い医療計画になの活用、地は ルパスの概要およびDPCにおけるパカルパス講演会を開催した。クリティ授を招き、三月一三日(火)、クリテ **שにおけるパ** 地域連携パ ハスの位置づけ等につハスを取り巻く状況、 、クリテの武藤正樹地 ス 力



の質向上や効率化に 対くくった。不可欠になると指摘さ つ ながる れ 講演会 ス 0)

(総務課 鈴木秀明)

に開催。

員参加の「ホッ 宅でできる体操」、全 (岩﨑進一郎相談員)、 便利な社会福祉制度」 ニ講座「知っておくと ハスタッフによる [自

学生六名と、当院で実習中の小田原キャン成田キャンパスのPT・OT・ST学科の主催者の角田亘副院長の呼びかけに応えた キ作りとおしゃべり・悩み相 ミニ講座や体操では、 スのPT学科二名が参加してくれた。

問が 身体の かなかこういう会がなくて困って 待ちに待っていました」、「ホッ しかった。 来ます」などの嬉し 自宅で

第二回脳卒中カフェを開催

「がんサロン和み」を開

当院ではふさぎ込みがちになる方やその減ったが、後遺症に苦しむ方は少なくない脳卒中は治療法が進み、命を落とす方は ご家族が気軽に集ま

二名が参 グラムは

談 0)

を抱えていたが、きちんと

があった。終了後、参加者からは、「な体の動かし方などについて、熱心な質ミニ講座や体操では、社会福祉制度やスのPT学科二名カ参加・

よう いる。 管理栄養士が講義を行った。 ん治療中の食事について」をテ がん患者様の身体ではがん自体による栄養

ムの鈴木美智江がん病態栄養専門

ルにて開催した。今回は「が

ーマに、当院緩

●スタッフが見守る中、ホットケーキを作る参加者 意欲低下。 して、食事工士 事が摂れずに焦る気持ち 難になる場合がある。その予防として患者様 性がある。栄養障害が進行す 摂取が阻害され、栄養障害が進行する可能 障害が生じており、さらに治療の影響で経 自身が工夫

し対策をとることが大切であると

うようになり、

治療継続が ると、倦怠感や

夫の具体例が紹介さ

が食べられないわけではな うな原因で症状が起きてい う感想が聞かれた。どのよ した原因があり、自分だけ と知り安堵できた」とい

軽減や闘病意欲維持につながることを再 識した。患者様・ご家族からいただいたご意見 ことも大切であり、その理解が患者様の不安るのか、治療を受ける患者様本人が理解する

がん性疼痛看護認定看護師

福祉大学病院

<u>し</u>と

「突然死撲滅キャンペー を

際医療福祉大学 腎臓病は万病の あげてくださ ?病のもと、

て葛西貴広先く紹介、続いについて詳し ことや腎臓病 重要な機能の 長の鷲田直輝 質疑応答も行 の治療法など 品をした。参についてのお生が透析療法 腎臟内科部 活発な

ウス

には市民公開講座 を開園した。

脳卒中を予防して突然死から身を守 「突然死撲滅キャンペ ートリズム科部長の福田浩二先生、。救急医療部長の和田崇文先生、う~」を開催、二八○人が参加し 心疾患・

急救命の初歩的な知識と技術を身に地域の消防隊員の協力もあり ポープをし

西那須野キッズハウス」開園「国際医療福祉大学 座となった

福祉法人邦友会は、国際医療福祉大学 大学 連携型認定こども園 西那須野 大学 一日に幼保 際医療福祉 Ó

う当園は定員一 育を一体的に行 の特長を兼ね ね六ヶ月以上児) 三五人で、○歳 (概 のお子様が入園がら就学前まで



面積は七八八八 る施設。敷地 保育室三 九 ㎡ m 0) 延べ床面 病児・

●国際医療福祉大学病院

えて、救急救命に必要なAED(体の予防や治療について講演した。加活習慣や、突然死につながる心疾患れぞれ突然死から身を守るための生 参加者に救急救命の実践 外除細動器)体験コ をしてもらった。 -レーニ を設け 病院とも連携し、 制を整えている。 開園に先立

隣接する国際医療福祉大学

万全の

医療支援体

火

数少な

いめて

とな

る

クは月

川合陽子

療





らご祝辞をいただいた。 須塩原市議会の山本はるひ副議長か 続いて那須塩原市の君島寛市

制が整って

平野

臨床医学研究センター

赤坂キャンパスに開設山王赤坂病児保育室を山王赤坂のリニック、

れている方々に

赤坂見附駅徒歩三

医療機関と連携

安定した病児保工病院ほか地域の

赤坂クリニックと山王赤坂病児ス内に四月、順和会が運営する国際医療福祉大学東京赤坂キャ %病児保

> あたり、病児 医師が診療に 様や学生・教保育室のお子 の経験豊富なもに山王病院 授が担当。内 祉大学病院教 授が担当。 務める。 科・小児科と 子国際医療福 国際医療福祉大学病院教授が院長を 午前は小児科 門脇弘 病児 クで、 後は内科を診 0)



●山王赤坂病児保育室

ホームページでもご覧いただけます http://www.iuhw.ac.jp/



©国際医療福祉大学2018 Printed in Japan 禁無断転載・複写

広報誌 IUHW 113 号 発行:学校法人 国際医療福祉大学

%スタッフと保育士だっ クを併設しており

しており

〔大田原キャンパス〕 栃木県大田原市北金丸2600-1 ☎0287-24-3000 [成田キャンパス] 千葉県成田市公津の杜4-3 ☎0476-20-7701

ただける病児保育室を

山本悦子

〔東京赤坂キャンパス〕 東京都港区赤坂4-1-26 203-5574-3900 〔小田原キャンパス〕

〔福岡キャンパス〕 福岡県福岡市早良区百道浜1-7-4(1号館) 2092-407-0805 〔大川キャンパス〕

福岡県大川市榎津137-1 20944-89-2000 編集:広報部 ☎03-5574-3828 デザイン:野佐デザイン

神奈川県小田原市城山1-2-25 (本校舎) 20465-21-6500

19 IUHW Public Relations Magazine 2018.5

際医療福祉大学三田病院



キャンパス プラス 1 vol.3 クラブ・サークル紹介 特別編

成田キャンパス学生会が新入生オリエンテーションを実施しました!

成田キャンパスでは4月5日、入学式終了後、「2018年度学生会」主催による新入生オリエンテーションがEB棟4階体育館で開かれ、部活動やサークルの24組と学生会、体育祭実行委員会、成翔祭実行委員会の合計27組が紹介された。

紹介された冊子には活動する曜日と時間のほか、人数、男女比とともに「ガチ度」として緩いから厳しいまで5段階で表示。最も厳しいガチ度なのはハンドボール部やHospital

Friendなど。Hospital Friendは「入院中の患者さん、家庭教師のお兄さん、お姉さん役となって、学習支援や遊びを通じて、患児およびその家族も含めた入院生活および社会復帰へのサポート役となることが目標」とアピールしている。緩い活動も、ちょこっとFC(フィットネス)やWE CORP、バドミントン部など多々あり、アンサンブル同好会は「音楽が好きな人が集まってゆるっと活動しています」と紹介している。

学生会会長 医学科2年 牧広大さん

学生会における昨年度の 反省を受け、多くの問題を改 善しました。昨年は在学生の 多くが大学全体の部活・サー クルを把握できていません でした。参加しようにも、友



人の紹介がなくては、活動場所や日時、連絡先がわからないことが多く、それが原因で、既存の団体と活動内容が重複した新設団体の申請などが生じていました。この状況を受け、1月から今年度の学生会メンバーでオンライン版を含めて、紹介冊子の作成を始めました。

また、昨年度は学生会・委員会・部活・サークルが全学科に同時に募集をかけようとしても、十分な伝達ができない状況でした。それを改善するため、今年度からはオリエンを全学科合同としました。加えて、学生会から全学生にデータの配布や伝達を行える体制を整えました。また大学の時間割に組んでいただくわけですから、遅れやトラブルを防ぐよう、オリエンの事前準備を念入りに行いました。発表団体を集めてリハーサルを行うだけでなく、各団体に事前に入場、退場、片付けの手順を配布することで、当日の認識ミスを防ぎ、スム

新入生への紹介冊子を作成

新入生全員に紹介冊子を配布しました。委員会、部活・サークルの全団体の連絡先などを掲載しています。また、紹

介冊子のQRコード から、紹介冊子の最 新版と英語版を参照 できます。新入生及 び在学生の学科・人 種・国籍を越えた交 流をめざしています。





日本語版

英語版

ーズな進行を行うことが できました。

終了後も新入生を始め としてアンケートを実施 することで、来年度の活 動をより良いものとする よう活動しています。





2018年度学生会メンバー



上段左から: 立山未歩 渡邊菜司、渡邉か、吉田涼香、福本七海下段左から: 伊海田彩夏、横町洲真 牧広太 齋藤1華里、鈴木佑実

2018年度成田キャンパス学生会メールアドレス iuhw .naritagakuse @ gmail.com



赤坂キャンパス 入学式「誓いの言葉」

国際医療福祉大学の学生として、立派な医療人となるために精一杯の努力をし続ける所存です。しかし、長い学生生活の中で時には悩み、不安になることもあると思います。そのような時には、先生方に助けていただくだけでなく、私たちは仲間同士で支えあい、励ましあいながら

それぞれの夢を実現するために共に成長していきます。私たちは家族やたくさんの方々に支えられて、ここまで歩んでまいりました。これからは、心理学・医療マネジメント学、それぞれの分野で活躍できる日まで、自覚と覚悟を持って努力し、力を身につけていきます。私たちはこの初心を忘れず、それぞれの夢に向かって仲間とともに学んでいきます。そして将来、4年間で培われた力で保健・医療・福祉の現場で活躍することを私たちはここに誓います」(要旨)

4月7日 赤坂心理·医療福祉マネジメント学部 新入生代表 塚田柚さん(医療マネジメント学科)

